

全国の経営工学部会会員各位様へ

## 第1回 経営工学部会 合同専門部会の開催案内

(公益社団法人)日本技術士会 第1回経営工学部会合同専門部会開催実行(準備)委員会

日本技術士会も公益社団法人化を行い、新たな組織としてスタートを切りました。

第39回技術士全国大会(大阪)は、公益社団法人化をして初めての地方開催となっております。

其中で、統括本部及び各地方本部のメンバーが一同に会して情報交換や意見交換を行う意義は大変大きいと考えます。

今年は、各専門部の全国合同部会が全国大会の初日(9/21 午後)に開催することとなりました。

経営工学部会も専門部会の一つとして統括本部及び各地域本部の会員各位の参加にて有意義となる合同部会の開催を計画し、ここに開催案内を発信申し上げます。

初めてのことで、近畿本部にて別紙の実施要領を作成して開催準備を行っております。

全国の経営工学部会メンバーの積極的な参加をお願いします。(経営工学部会以外の方も歓迎します)

1. 経営工学部会 合同専門部会への参加について(参加費は要りません 無料です)

申込期限 準備の都合上から2012/8/20(月)を設定いたします。

申込連絡先 近畿本部/経営工学部会/部会長 河内弘茂まで

メール: [gqzp3eqd@heart.ocn.ne.jp](mailto:gqzp3eqd@heart.ocn.ne.jp) FAX: 0742-49-4645

尚、合同専門部会への「参加証」は発行致しませんから本状を。

2. 合同懇親会への参加について(参加費は、¥3,000です)

全国の会員が情報交換する絶好の機会である「懇親会」にも積極的にご参加頂きたいをお願いします。

参加申込用紙(下記の部分をメール添付にてご利用下さい)

<宛て先>

日本技術士会/近畿本部/経営工学部会

部会長 河内弘茂 様へ

メールアドレス [gqzp3eqd@heart.ocn.ne.jp](mailto:gqzp3eqd@heart.ocn.ne.jp) FAX 0742-49-4645

経営工学部会専門合同部会及び懇親会への参加申込書

併せて、懇親会にも参加します

本部名・支部名・部門	
お名前	
連絡先(電話・FAX)	
連絡先(メール)	

以上

大会テーマ『科学技術で社会を繋ぐ』～繋がりから生まれる新しい未来～

## 【第1回全国経営工学部会合同専門部会実施要領】

1. 日 時 平成24年9月21日(金) 13:00～20:00
2. 会 場 大阪国際交流センター 3階会議室1～2
3. テーマ 「我が国の企業経営向上に繋がるメッセージ」

受 付 12:30 から (懇親会費 3,000 円徴収) 池田洋二(近畿本部経営工学部会幹事)

第Ⅰ部 研鑽成果発表会 進行:間島勝彦(近畿本部経営工学部会幹事)

(独立技術士・企業内技術士を問わず主に個人の事例発表や論文紹介等をして戴く。)

13:00-13:05 開会の辞 近畿本部経営工学部会 部会長 河内弘茂

13:05-13:10 ご 挨拶 統括本部経営工学部会 部会長 堀内孝男

13:10-15:10 発表者 1、矢萩三郎(東北本部山形支部)

発表者 2、福田真三(統括本部幹事)「三陸復興協力活動」

発表者 3、石川君雄(中部本部部会長)

発表者 4、新庄秀光(近畿本部幹事)「時代に即応する組織運営技術について」

- 講演予定時間ひとり当たり約 20～25 分。講演者略歴紹介・質疑応答の時間を含むが、質疑応答に出来るだけ時間を取りたい。

<<15:10-15:20 休憩(パネルディスカッション会場準備)>>

第Ⅱ部 パネルディスカッション (15:20-17:20) 進行:河内弘茂

(主に部会・研究会活動を中心に、経営工学部門の活動状況、今と将来を議論する。)

1、パネリスト: 矢萩三郎(東北本部)、

川口賢良(統括本部中小企業交流実行委員長)

石川君雄(中部本部経営工学部会長)

増田武司(近畿本部経営工学部会副部会長)

2、コーディネータ: 近畿本部経営工学部会 部会長 河内弘茂

3、会場ディスカッション:出来るだけこれに十分な時間をとり自由闊達な交換の場としたい。

4、まとめ:

5、閉 会:

<<17:20-17:30 休憩(懇親会場準備)>>

第Ⅲ部 懇親会(17:30-20:00) 進行:増田・(新庄)、(近畿本部経営工学部会幹事)

1、挨拶:堀内統括部会長、石川中部部会長、矢萩東北本部、他来場された主な方々

2、懇親パーティご歓談(各本部・地区毎に参加者紹介・自己紹介・記念撮影)

3、中締挨拶:栗山仙之助(公益社団法人日本技術士会名誉会員)

以上

## 1 はじめに

リーマンショックから4年、3.11 東日本大震災と福島第一原子力発電所事故から早くも1年半が過ぎ去った。

この間の我が国経済は、同事故の影響による電力供給不足に伴う節電対応及び料金値上げ申請等により国民生活や企業の生産活動は広範囲にわたり大きな影響を受けた。その後、予想を上回る早さでのサプライチェーンの復旧や個人消費の持ち直しなどにより、穏やかな回復の動きが見られたものの、歴史的な水準の円高や欧州債務危機などの不安要因により、輸出不振となり、景気は不透明な状況が続いている。

このような環境の中で、各産業界及び各企業では(大手企業及び中小企業含めて)、自社の企業業績向上を目指して、ひいては今後の科学技術の向上と国民経済の発展のために、必死の努力を積み重ねておられるところである。

しかしながらその実態は、電機業界における大手3社の赤字と社長交代や、シャープの台湾メーカーとの資本業務提携、航空機業界におけるJAL改革やLCCの参入、世界主要企業時価総額での日本企業凋落、製造・流通各業界における再編成、四つの原発事故調査団(東電、専門家、議会、政府)報告での真の原因と責任所在の不特定、等々、まだまだ“日本再生”の為の技術力、経営力の追求・発揮が必要とされる課題が残っている。

さらに、今後の世界は、原発廃止への動き、シリア・イラク紛争などの中東問題、欧州債務危機の行方、TPP参加問題、米国大統領選挙等世界首脳陣交代、等々で、不透明・複雑化の様相が激化する傾向にあるものと予想される。

## 2 開催趣旨とテーマ

かかる環境下で、第39回技術士全国大会が大坂で開催されることになった。

### (1) 基本方針(狙い)の設定

我々準備委員会では、早速堀内統括部会長らとも相談し、次の基本方針(狙い)を纏めた。

1、全国から経営工学部門技術士が集うのを機会に、企業・社会に対して「何が貢献出来るか」の日頃の想いと研鑽成果の発表を行い、併せて部会活動としての今と未来のあり方につき、情報・意見交換及び議論の場としたい。

2、併せて自己形成、社会形成に役立たせたい。

3、更にこれを機会に人脈・仕事脈を広げたい。

### (2) テーマの設定

次いでテーマの設定には、当初、独立技術士対象のテーマとして、中小企業対象のコンサルタント業務者が多いことから、中小企業経営者に繋がる(役立つ)テーマとして「我が国中小企業経営及び社会向上に繋がる(役立つ)技術士としてのあり方」とした。

しかし、最近は大企業内の企業内技術士(固有技術部門のマネージャーになって経営工学技術士資格を取得した方々)が増加して、前述の諸問題や色々な課題解決に日夜努力されている実態に鑑み、より多くの人に相応しいテーマを検討した。因みに近畿本部経営工学部会会員数は、現在45名であるが、内企業内技術士は23名に昇り昨年からは過半数を占める状態となっている。このことからテーマを「我が国の企業経営向上に繋がるメッセージ」ときめた。

ただ、懸念要素として、当専門部会開催が9月21日金曜の午後になるので、多忙な現役マネージャーが出席出来るかどうかは案じられるが精々のご参加をお願いする次第である。

## 3 経営工学部門技術士の現状

(1) 2011年3月末の技術士登録者数は、全部門対象で86,364名、その内経営工学部門登録者は1.9%と記されている。従って $86,364 \times 0.019 = 1640$ 人となる。(出典:日本技術士会概要パ

ンフレット 2011.8 発行版)

(2) 公益社団法人日本技術士会に会員登録されている技術士数は、全部門で 13,658 名(2011.3 現在)であり、この内経営工学部門登録者数は 435 名(3.2%)と記されている。(出典：前掲)

(3) 経営工学部門会員登録者数(1955 年 4 月 1 日～2012 年 7 月 20 日)は、名誉会員 27 名、正会員 438 名、準会員 91 名、計 556 名。(出典：日本技術士会ホームページ会員頁より検索)

(4) 経営工学部門本部・地区別会員登録者数：北海道 6 名、東北 10 名、関東甲信越(統括本部) 357 名(支部別内訳：東京都 105 名、神奈川県 122 名、千葉 43 名、埼玉 39 名、茨城 24 名、栃木 11 名、群馬 4 名、長野 5 名、山梨 4 名)北陸 4 名、中部 46 名、近畿 75 名、中国 11 名、四国 3 名、九州 18 名、計 530 名。(出典：前掲検索)

(5) 専門科目別登録者数：生産マネジメント 101 名、サービスマネジメント 34 名、ロジスティクス 9 名、数理情報 6 名、金融工学 1 名、包装 9 名、工場管理 89 名、工場計画 19 名、生産管理 51 名、品質管理 57 名、包装及び物流 31 名、プロジェクトエンジニアリング 39 名、計 446 名。(出典：前掲検索)

#### 4 近畿本部経営工学部会の活動状況

(1) 会員数：現在 45 名(独立 22 名、企業内 23 名、経営工学部門 34 名、その他の部門 11 名)



写真 部会開催状況 24.4.21

(2) 活動：例会(偶数月第 3 土曜 1 時半～5 時、会員中心に 1 名の事例発表)年 6 回開催

- ・23/8 多角化事業における事業再編事例：坂井
- ・23/10 技術士 CPD の品質保証：杉本
- ・23/12 エネルギー選択上の原子力の役割：松永
- ・24/2 ルームエアコンと高粘性流体移送ポンプ：三浦
- ・24/4 クレーム・不良ゼロを目指す品管活動：辻本
- ・24/6 バーコードと RFID 動向：徳永
- ・24/8 ODA の動向と貧困削減技術：森

- (3) 見学会：年 1～2 回、業務研究会と合同
- ・23/9 京都の中小企業見学「ナベル」「さんけい」
  - ・24/6 (宿泊研修) 1 日目 JR 風洞技術センター、フジテック、高橋金属見学、2 日目彦根城他見物
- (4) 役員：任期 2 年、選挙で改選

#### 5 当日の予定

9 月 21 日(金) 13～20 時 3 階会議室 1・2

##### 【第 I 部】 研鑽成果発表会 13～15 時

テーマ：独立・企業内技術士の事例・論文発表  
開会の辞 河内弘茂近畿本部経営工学部会長  
ご挨拶 堀内孝男統括本部経営工学部会長  
発表 1 矢萩三郎東北本部(山形支部)  
発表 2 福田真三統括本部「三陸復興協力活動」  
発表 3 石川君雄中部本部経営工学部会長  
発表 4 新庄秀光近畿本部幹事「時代に即応する組織運営技術について」

##### 【第 II 部】 パネルディスカッション 15～17 時

テーマ：主に部会・研究活動を中心に経営工学部会の活動状況、今と未来を議論する  
パネリスト：矢萩三郎(東北本部)、川口賢良(統括本部)、石川君雄(中部本部)、増田武司(近畿本部)

コーディネータ：河内近畿本部経営工学部会長

##### 【第 III 部】 懇親会 17～20 時

会費：3000 円(当日徴収)

#### 6 参加への誘い(おわりに)

今回の第 1 回合同専門部会開催のきっかけは、昨年東京での第 38 回全国大会で堀内、小野寺、石川諸氏との“出会い”が原点にある。折角の経営工学同志の集いに全国からは是非多数ご参加願ひ、自己実現の達成と同時に科学技術の向上、国民経済の発展に資するよう微力を尽くしたい。

以上